

旅行は一人かグループか オリビア・スナイター

皆さんは旅行に行く時は、一人で行く方が好きですか？それとも友達や家族と一緒にグループで行く方が好きですか？見てみたい観光地、やりたいアクティビティ、食べてみたい名物など、旅行に行く時は行先に限らず多くの選択肢があります。個人の性格や好み、または一緒に旅している人たちとの関係性によって旅行の雰囲気や目的は大きく異なります。

単独の旅では、行きたい場所ややりたいことを自分で決める自由があります。他人の意見を踏まえて旅程を企画する必要もなく、一人で思うように旅行を楽しむことができます。疲れたら休む、お腹が空いたらどこかに食べに行く、朝型・夜型人間の好きな方にスケジュールを合わせて行動できます。

一人で旅をするメリットは、他の観光者と交流する機会が増えることです。たとえば、ユースホステルに泊まると、必ずリビングやキッチンなど共有スペースがあります。部屋にこもらず、このスペースで時間を過ごせば同じ施設に泊まっている外国人や旅人と会話ができます。ご飯を食べたり、観光地を冒険したり、新しくできた友達と一緒に旅をすればさらに仲良くなれます。

一人旅のデメリットといえば、頼れる人が近くにいないことです。一人の場合は宿泊施設の予約、旅程の企画、荷物の持ち歩きなど、全てを自分でやる必要があります。食中毒のような急な病や、現金を使い切ったカードが使えないようなピンチなど、想定外の出来事があればすぐに助けてくれる人はいません。たとえば、私のような方向音痴の人は携帯の電源が切れてグループマップが使えなくなった状況では焦ります。頼りになる旅行バディがいた方が安心できます。

私は今まで、何度も家族、友達、カップル旅行に行ったことがあります。数人で旅行に行くことはとても楽しいですが、単独の旅ほどシンプルなものではありません。それぞれ好きな食べ物やアクティビティ、苦手なもの、体力、歩くペースなどが異なり、みんなが平等に楽しめる旅行を企画することは難しいです。

「グループでディズニーランドに行く」のような単純な旅でも、多様なチャレンジが浮かび上がってくると思います。私は値段が高い入場券を最大限に活用するため、平日で12時間以上遊園地に行っても大丈夫ですが、長時間列に並んでゆっくり休む場所がない一日は無理な人もいます。他人の食事制限の影響で行きたかったレストランで食事ができない、グループの一人が運動不足で行きたかったハイキングコースに行けないなど、残念な出来事もあるかもしれません。

あえて言うと、私はペアか小グループの旅行が個人的に一番好きです。人数が少ない場合は宿泊場所を探すのも楽になりますし、遊園地、観光地、レストランなどにも行きやすいです。にぎやかに旅をして、みんなと笑いながら振り返ることができるといい思い出をつくる方が私は好きです。皆さんはどんな旅が好きですか？



妹(左)と一緒にいったUSJ!

手話奉仕員養成講座受講生募集

聴覚障害者の生活や福祉制度について理解と認識を深め、日常生活に必要な手話を習得します。

入門課程(初心者向け)

- ▼日時：5月17日～10月25日
毎週金曜日19時～20時30分
- ▼場所：五所川原市中央公民館2階第一会議室
- ▼内容：手話実技・講義・交流
- ▼対象：聴覚障害者との交流を希望し、手話を学びたい16歳以上の方
- ▼定員：20人
- ▼受講料：無料(テキスト代実費税込み3,300円)

基礎課程

- ▼日時：4月23日～10月29日
毎週火曜日19時～20時30分
- ▼場所：松の館2階視聴覚室
- ▼内容：手話実技・講義・交流
- ▼対象：入門課程を修了した方
- ▼定員：15人
- ▼受講料：無料



▼申し込み：往復はがきでお申し込みください。入門課程は4月18日(木)必着、基礎課程は4月3日(水)必着
※受講の可否は返信用はがきでお知らせします。

往復はがきの書き方

- ①「往信のあて先」は、〒038-3102 つがる市柏下古川稲森22 西北五ろうあ協会事務局あて
 - ②「往信の裏」には、受講希望課程名・氏名・年齢・連絡先(FAX、メールアドレスまたは電話番号)を必ず記入してください。
 - ③「返信のあて先」は、申込者の住所とお名前を必ず記入してください。「返信の裏」は白紙のままお願いします。
- 【問い合わせ先】市役所福祉課 電話42-2111(内線241・248) 西北五ろうあ協会 成田 FAX33-1256

松くい虫被害・ナラ枯れ被害の予防にご協力ください

松くい虫被害は、マツノマダラカミキリという昆虫によって運ばれるマツノザイセンチュウという小さな線虫が松の木に侵入することによってマツが枯れる伝染病で、県内では深浦町と南部町で被害が発生しています。

また、ナラ枯れ被害は、カシノナガキクイムシという昆虫が運ぶナラ菌によってミズナラやカシワなどのナラ類が枯れる伝染病で、県内では弘前市、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、中泊町で継続的に被害が発生しているほか、令和5年度は新たに青森市、平内町で被害が発生し、被害の拡大が懸念されています。

これらの被害が、県内各地で発生するようになると、農林水産業をはじめとする産業・経済のほか、自然景観などに影響を与えることから、以下の3点にご協力をお願いします。

- ①マツノマダラカミキリとカシノナガキクイムシは、マツとナラ類を伐採した際に発生する臭いに集まる習性があるため、これらの昆虫の活動期(6月～9月)には、マツとナラ類を伐採しないようにしましょう。
- ②マツ丸太やマツ苗木、ナラ丸太を被害地から持ち込むと、松くい虫被害やナラ枯れ被害を呼び込む可能性があるため、県内の未被害地のものを利用しましょう。
- ③身の回りで枯れているマツやナラ類を見つけたら、下記へご連絡ください。

【問い合わせ先】市役所農林水産課 電話42-2111(内線412)

西北地域県民局林業振興課 電話0173-72-6613

市民の皆さまから寄せられたお問い合わせ

市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所と各出張所に目安箱を設置しているほか、市ホームページでもお問い合わせを受け付けています。寄せられた中から主なものをお知らせします。

自転車通学する中学生のヘルメット着用について

Q 木造中学校の生徒がヘルメットをせずに通学しているのが気になります。学生は1番取り組みやすいと思いますが、なぜやらないのでしょうか？また、右側走行もして危ないと思いました。木造中学校の生徒に限らず、市内の学校には取り組んでもらうべきではないですか？



A 令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されましたことから、令和5年4月に管内小中学校において、交通ルールや交通マナーを指導したところであります。

また、教育委員会では、つがる市校長会においても改めて交通ルールや交通マナーの指導の徹底を依頼しました。今後、市内の小・中・高等学校、PTA、教育委員会および警察署等で構成するつがる市生活指導協議会においても継続して協議し、児童生徒への交通ルールや交通マナーの指導を徹底してまいります。

現在、本市ではヘルメット着用を要件として自転車通学を許可している中学校とそうでない中学校がありますことから、教育委員会ではヘルメット着用についても管内中学校と協議してまいります。(教育総務課)

以前からヘルメット着用を義務化していた森田中および柏中に加え、令和6年度からは木造中がヘルメット着用を義務化するほか、稲垣中も自転車交通ルールの周知や指導を行いながら、義務化に向けて検討をしています。(車力中では自転車通学はありません)

児童クラブへのエアコン設置について

Q つがる市の放課後児童クラブを利用させていただいています。小学校ではエアコンが設置され子どもたちの学校生活も快適な環境となっているようです。今年(令和5年)は猛暑が続き、エアコンの無い状態で放課後児童クラブですごす時間が子どもたちにはとても辛い時間となっているようです。児童クラブへのエアコンの設置を強く希望しています。

A ご利用されている児童クラブへのエアコンの設置についてお答えします。児童クラブを実施している建物は、運営業務を委託している法人が所有する建物であるため、エアコンの設置に関しては法人へお願いしております。法人へエアコンの設置について確認したところ、現在(令和5年8月)、設置準備を進めている途中ということで、電圧変更のための電気工事が完了し、取り付けるエアコンも確保できているのですが、設置業者が繁忙のため、工事スケジュールが未定となっている状況でした。法人から業者へなるべく工事を早めるよう依頼しているということですので、ご利用されている児童ならびに保護者の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解くださるようお願いいたします。(子育て健康課)

【受付担当】秘書政策課